

熊野町立熊野東中学校第1学年 学年通信 R4.4.20 第2号

積小為大 (せきしょうだい)

～一日一日を大切に、積み重ねていく一年にしよう～

ニッコリ笑顔で「ハイ、ポーズ！」

花吹雪に心を弾ませながら、4月8日にクラス写真を撮りました。

クラスの仲間も変わり、少しの不安と大きな期待といった様子でしたね。

暖かな春の日差しを浴びた皆さんの笑顔は、キラキラと輝いていましたよ。

2年1組



2年2組



2年3組



心に花を咲かせましょう！！

① 具体的なイメージをもつことで、実現する未来

始業式で校長先生が話してくださった運慶のお話。覚えていますよね。まるでそうなることが決まっているかのように、なりたい自分を実現するためのヒントとなるお話でした。

運慶が、まるで埋め込まれている仁王像を掘り出すように、ツチとノミで彫ることができたのは、運慶の頭の中にはっきりとした仁王像のイメージがあったからです。

文豪『夏目漱石』の作品を題材に、皆さんがイメージしやすいように話してくださいました。

「まるでそうなることが決まっているかのように、なりたい自分を実現できる。」

皆さんの心の中に、1年後の自分の具体的なイメージはできましたか？

② 「花明かり」～桜を愛でながら思ったこと～

満開の桜の周りは、夜でもほのかに明るく感じませんか？

これを「花明かり」と言います。桜が漂わせる人を引きつけるオーラ。

このようなオーラを人に対しても使います。

「あの人には花がある」

世阿弥が使いだしたのが始まりと言われるこの言葉。

この不思議な魅力はどこからくると思いますか？

もしかすると、心の中に見事な「花」が咲いているからではないでしょうか。夢であったり、喜びであったり、そして「はっきりと描いた将来の自分の姿」だったり・・・。

それこそが、「花明かり」のように人々を魅了するのかもしれない。

生徒、教員、そして家族の皆さんも、心の中に花を咲かせる日々を送れますように🌸



(安井 直美)